
地域交流実践演習Ⅱ 活動報告

前期の地域交流実践演習Ⅰを通して出た意見を元にテーマを5つに絞り、10グループを再編成した。

1. 歩き遍路体験学習班
2. サイクリング班
3. 世代間交流〈遊び〉班
4. 世代間交流〈料理〉班
5. タオル班



平成27年度 地域交流実践演習Ⅱ 歩き遍路体験学習班
今治市内の歩き遍路体験での学びをマップ付きの小冊子に
 ～学生の視点からとらえた地域の文化～

本学では、平成12年度に端を発する「地域文化論」において歩き遍路体験学習を実施してきました。そのつながりの中で、前期に開講された地域交流実践演習Ⅰの授業において四国八十八箇所霊場第五十八番 仙遊寺ご住職であられる、小山田憲正先生に「四国へんろ道世界遺産化と地域づくりについて」(2015年5月14日)をテーマに講演していただきました。

後期の地域交流実践演習Ⅱでは、前期で提示されたテーマをもとに実際に地域へ出向き体験を通して学ぶことが目的の一つです。我々「歩き遍路体験班」では、2015年10月10日、長年歩き遍路教育に携わってこられた佐伯羊一先生に先達をお願いし、今治市内にある延命寺から仙遊寺までのへんろ道を歩く体験をさせていただきました。長い歴史をもつ「へんろ道」を自ら歩いて知る(気づく)という体験は、学生にとって大変新鮮なものであったようです。

この体験をもとに、その後の授業では、この地域文化をどのように捉え、何を深めていくかを考えました。6、7人で構成される4つのグループそれぞれが視点を持ち、調べ学習、インタビュー調査などを通して学びを深めると同時に、どのように地域に発信していくかを検討し、その結果、次の様式の小冊子となりました。これらの概要をご覧ください(歩き遍路体験学習班 担当教員一同)

小冊子の仕様：A4 カラー 全12ページ；歩きへんろマップ (A3 カラー 表裏 1枚)
 *学生のアイデアにより最終ページにマップを入れる袋をつけ、1冊に仕上げました！

〈以下、冊子の縮小版を掲載〉



写真：(表紙) 仙遊寺の山門前にて

(裏表紙) 仙遊寺から今治市内を望む

それぞれのお寺の特徴について調べました！

延命寺



延命寺について
愛媛県今治市四方にある。宗源は『真言宗豊山派』の寺院。近島山、笠嶺院と号す。

歴史
聖武天皇の勅命を受け養老4年(720年)に行基が不動明王を御み堂宇を建立して開基。弘仁年間(810年~824年)に空海(法法大師)が延命天皇の勅命によって再興。不動院えんん寺と名づける。かつては現在地の北の近見山にあったが再三戦火に焼かれ境内を移転。享保12年(1727年)に現在の地に移転。
明治の頃、五十三番札所の須賀山えんん明寺との混合を避けるため、通称の「延命寺」を寺号とした。

見どころ
山門(仁王門)・・・もと今治城の山門のひとつで、総けやき造り。明治初期に今治城取り壊しの際に取り壊された。
四国で二番目に古い、真念法師が宇がけた道續石が残されている。
境内にはあじび(白く小さな花)の木が多く、春の彼岸のころから美しい花をつける。つつじも多く栽培され、花の寺としても知られている。

感想 最も明徳経期大学から近い寺。四国で二番目に古いのだという、道續石が印象に残る。四季折々の花が楽しめる「花の寺」としても知られているらしく、花が豊かであるという四月にまた訪れたい。

南光坊



宗派：真言宗醍醐派
本尊：大通智勝如来
開基：行基菩薩
創建：大宝3年(703)

1. 四国霊場のうち「坊」がつく寺院はこの南光坊だけである。正式には光明寺金剛院南光坊という。今治市の中心街にあるが起源は古く、航海の神、総持守・伊予一の宮の宮の大山祇神社と深くかわる歴史を有する。
大宝3年、伊予水軍の祖といわれた国主・坂野玉造公が、文武天皇(在位 697/707)の勅をうけて大山権明神を大三島に勧請し、大山祇神社を建てた際に、法華院として24坊の別当寺を建立したことが創始といわれる
2. 太平洋戦争最末期の昭和20年8月、空襲により大郎堂と念比羅堂を壊して罹災した。現在の本堂は昭和56年秋、復興堂は平成3年春に、山門は同10年に再建されている。

南光坊にゆかりのある人物 天海
安土桃山時代から江戸時代初期にかけての天台宗の僧。姿を變えて生き残った明智光秀であるという説もある。徳川家康の側近で100歳で没したとされる。(100歳以上の長命であったことは確かであるらしい)

感想 敷地も広く非常にきれいなところでした。周辺は都市開発されている中で、いつまでも変わらず古い雰囲気の漂う場所です。機会があればぜひ行ってください。

<歩き道路体験学習班 学習成果報告集 目次>

- それぞれのお寺の特徴について調べました！・・・1~3・・・ティークタイムのグループおへんろの歴史を年表にまとめました！・・・4・5・・・WSK~和食~グループおへんろをしようとしている人にインタビュー・・・6・7・・・マイタウングループ
- 歩き道路体験学習班の活動報告・・・8・9
- 学生の視点で歩きへんろマップを作りました！・・・9(副題)・・・um~遊歩き~グループ

*各グループ名は担当授業員メンバーの共通項を基につけています。



平成27年度 地域交流実践演習Ⅱ 歩き道路体験学習班 学習成果報告集に寄せて

地域交流実践演習の目的

地域交流実践演習の目的は、「地域やそこに生きる人々の歴史を通して、地域における取り組みが、どのように展開しているか、自らその歴史に接して学ぶ、実践していく」という目的を掲げています。授業を通して学びの目的は、次の通りです。

1. 地域の人口や土地利用、コミュニティセンターなどについて学ぶ。
2. 地域の歴史や文化について学ぶ。
3. 地域を巡ることで、地域に接する機会を得ることになる。
4. 地域を巡ることで、地域に接する機会を得ることになる。
5. 地域を巡ることで、地域に接する機会を得ることになる。

歩き道路体験学習の経緯

本学では、平成27年度に履修する『地域文化概論』において、歩き道路体験学習を実施していただくという目的で、履修の『地域文化概論』では、履修へんろ(歩き道路体験学習)の目的を掲げています。履修の『地域文化概論』では、履修へんろ(歩き道路体験学習)の目的を掲げています。履修の『地域文化概論』では、履修へんろ(歩き道路体験学習)の目的を掲げています。



履修の『地域文化概論』では、履修へんろ(歩き道路体験学習)の目的を掲げています。履修の『地域文化概論』では、履修へんろ(歩き道路体験学習)の目的を掲げています。履修の『地域文化概論』では、履修へんろ(歩き道路体験学習)の目的を掲げています。



泰山寺



宗派：真言宗臨湊派
 本尊：地藏菩薩
 開基：弘法大師

創設：弘仁6年(815)
 真言：おん かかびび さんまえい そわか
 正式名：金輪山 朝王院 泰山寺

●歴史
 泰山寺には、水龍で人命を失う悪霊のたたりを鎮めた伝説が根強く残っている。弘法大師がこの地を訪れたのは弘仁6年のころ。蒼社川という川がこの地方を流れており、毎年梅雨の季節になると氾濫して、田地や家畜を流し、人命を奪っていたため、村人たちは恐れおそえ、人取川といって悪霊のしわざと信じていた。

●土砂加持
 川の氾濫などで命をなくした亡者追善の祈禱などを行う。

●不忌の松
 大師堂の側にあったが、いまは切り株だけが残っている。この切り株に腰をかけると腫瘍に聖薬あらたかというが。

●地蔵草
 本堂前め前。石塔に丸い輪があり、これを回すと六道輪廻の絆を断るといわれる。六道は、地獄・餓鬼など衆生が背負う六つの迷界。

●感想
 泰山寺には、水龍で人命を失う悪霊のたたりを鎮めた伝説が残っていることを知りました。お寺の歴史などは難しいけれど、調べていくにつれて、さまざまなことを知れてよかったです。

栄福寺



宗派：高野山真言宗
 本尊：阿彌陀如来
 開基：弘法大師

創建：弘仁年間(810~824)
 真言：おん あみりた ていせいからうん
 正式名：府頭山熊野群院 栄福寺

●成り立ち
 弘仁年間(810~824)に嵯峨天皇の勅願により弘法大師が開基。海上の安全を祈願して瀬戸内海を望む府頭山山頂で護摩法を修法したところ、海中から光とともに阿彌陀如来の像が現れたのでこれを本尊としたお堂を山頂に建立したので始まり。貞觀元年(859)行教上人が山頂の阿彌陀如来を本地仏として八幡神を祀り、神仏習合の八幡宮を建立した。

●少年の箱車
 足の不自由な15歳の少年がお遍路で栄福寺にお参りされた時に、乗っていた箱車を連れていた犬に引つ張られ本堂から転倒した。その際に、不自由であった足が治癒しそのご利益に感謝して松葉杖とともに奉納したものと

●住職：白川豊成(しらかわ みつせい)
 大学卒業後しばらく地元の本郷で社員として働くが、2001年先代住職の遺徳をうけて24歳で栄福寺の住職となる。

●感想
 映画の舞台となったお寺で、建物だけでなく、魅力的な住職にも興味を持ってまわることができました。お寺に着くまでの小道も印象的でした。

仙遊寺



1. 高野山真言宗の寺院。本尊は、千手観音菩薩
2. 第五十八番札所
3. 正式名は作礼山 千光院 仙遊寺
4. 伊予の(太守)越前守貞が建設
5. 本尊の千手観世音菩薩は海から上がってきた竜女が「刀三礼」して彫ったという言い伝えがある。
6. 阿坊仙人という僧が本寺に暮らしていたが、突然姿を消してしまったことが寺名の由来になっているという。
7. 作礼山の山頂近い標高300mの高地にある。
8. 弘法大師が四国書場開創の際に、仙遊寺で修法をされたとき、例に準じむらたを歌謡しようといふ井戸を掘った。この井戸は旧参道の脇にあり、「お加持の井戸」として多くの参拝者を驚かせたといえられ、信仰される。

仙遊寺の由来

阿坊仙人という修行僧が、養老二年(716)までの40年間住んでおり、諸堂を整えたと伝えられている。その後、阿坊仙人はなぜかこのつらさを消してしまった。その様子をはまらで雲と霧ぶかのように消えたこと。この修行僧の語が代々受け継がれていき、「せんゆう」等の「仙遊」に添えられたと言われている。

大野池の云われ



文化4年(1807)に完成した湧池で、仙遊寺と栄福寺の使い分けをした水の供養池。

昔、仙遊寺と栄福寺で1人の住職さんが兼務していた。一匹の黒い犬を飼っていた。この犬はどとも置かされたため、住職さんは愛犬に二つの寺の使いをさせていた。山の上の仙遊寺で鐘が鳴れば山を駆け降り、山の麓の栄福寺の鐘が鳴れば山を駆け下りて、住職さんにその消息を伝えるという利口な犬だった。しかし、ある時、仙遊寺と栄福寺の鐘が同時に鳴ったため、愛犬はどちらに行けばよいのか迷ってしまった。右往左往するうちに途中にある池で溺れ死んでしまった。これを悲しんだ村人が、池の湖畔に犬塚をもうけて、その池を犬塚池と呼ぶようになったと言われている。この池は今も、仙遊寺と栄福寺の中間にあり、静かに水をたたえている。

仙遊寺へ行った感想
 仙遊寺は山の上の山にあり、今治市内が一瞥できとても美しい景色でした。
 栄福寺から仙遊寺までのへんろ道も大変な山道で一番お遍路らしい道でありであると思えます。
 壮大な自然に囲まれた山道を歩き、仙遊寺にたどり着いたときは今までのような道感を感じず、仙遊寺にたどり着いたとき、その様子をはまらで雲と霧ぶかのように消えたこと。この修行僧の語が代々受け継がれていき、「せんゆう」等の「仙遊」に添えられたと言われている。

歩きへんろをしている人にインタビュー★

歩き遍路を体験して

歩き遍路を体験しての感想



歩き遍路をして疲れた。

本気で好きじゃないとできないと思う。仙遊寺までのしんどい道を経て、なぜ歩き遍路をするのかや疑問に思った。



再び延命寺に
 コー!!

なので、延命寺にインタビュー。歩き遍路の方は、だいたい1日10人ほど58番(円明寺)→54番(延命寺)まで約10時間かかるので、朝出発して夕方に着く。お昼にバスで来る方が多く、家族連れが多い。田舎や福引り、お正月の時期は少ない。いろいろな偶然がある。



88ヶ所まわると願い事が叶うらしい☆



おもてなし

お遍路をされている方にインタビュー
 なぜお遍路をされているのですか？

- 60代男性
 - ・定年退職をし、人生の区切りをつけたい。
 - ・お遍路をしながら人生を考え直したい。
 - ・自分を磨きなおしたい。
 - ・欲望を持っているがゆえ、心を洗うため。
 - ・海外の人も多く60〜70歳くらいのスペイン、イギリスの方とも民宿などで話したりする。
 - ・歩くときは無心。
- 50代女性

歩くのが趣味で何かそれに繋がることがないかかって考えたら自分の地区に歩きお遍路ってものがあつたから。継続というものにその中ごとのスタンプを貰えるのでそれをおして自分が歩いた実感を味わえる楽しみがあるから。

健康のために
 歩いてます☆



インタビュー結果
 本来お遍路を行う人の主な理由は、健康や重慶の前に対する健康祈願だったが、1990年代中頃〜後半にかけては健康増進や自分の体力の可能性を試したいに行う人が増え、現代では、自分だけの旅やおもてなしなどの出会いを求めて行う人が増えた。

歩きへんろ MAP

延命寺(54番) ~ 仙遊寺(58番)

あたしにちが
 1年間に
 作りまいた。

58番 仙遊寺

道のり
道なき道を歩きます。頑張りましょう!!

景色
仙遊寺からの景色は、今治の街を一望できます! とてもオススメです!

～犬塚池のエピソード～
 栄福寺と仙遊寺を担う住職は、一匹の犬を飼っていた。どちらかの寺の鐘が鳴ると住職に用事を伝えに走る、とても賢い犬。ところが、ある日の事、二つの寺の鐘が同時に鳴った。犬はどちらに行けばよいのか迷い、途中にある池で溺れてしまった。悲しんだ村人が、湖畔に塚を設けた。それ以来、犬塚池と呼ばれ始めた。

1 キヌケの湯
 駅から近く、気軽に利用できる天然温泉です。施設内のカーンスも充実で、食後のカキは絶品!!

2 近藤
 昔懐かしい小さな駄菓子屋さんで、子ども達に大人気! 優しいおじさんがいて真心に渡れます!!

3 菓子屋 麗(友人)
 小道にある麗の家のようなお店で、プリンが名物他にも、チーズケーキや杏仁豆腐もおススメ!

見所は、秋になると映き乱れるコスモス!!

1 延命寺の湯
 本館よりも高台にある、別荘・竹庭湯正の湯がおススメ!! 疲れた体を癒してください!!

2 八幡橋頭
 玉川地区に古くから伝わる橋頭です。有名な一品で、とても美味しいです!

栄福寺の見所
 ～古い浄土堂～
 寛政12年(1800年)7月、九州から巡礼に来た人の墓がある。「八幡宮別当栄福寺」と記されていて、約3ヶ月で四礼状を一巡した。

～少年の乗車～
 足の不自由な少年が犬に引かせて遊んだ乗車であり、昭和8年に栄福寺で足が折ったので、栄福寺とともに奉納した物である。

1 La Bissou's プリース～
 おしゃれなケーキ屋さん。色んな種類のケーキがあり、どれも美味しいです! 見た目もキラキラで、女子に人気!!

2 大谷集馬
 小谷高校生限定の懐かしい道。運動部は、よく走っていました(笑)

3 今治北高校時代の教室
 4月頃になると今治北高校前の川沿いに壁が建ちます!
 綺麗に映っていて、美しいです!

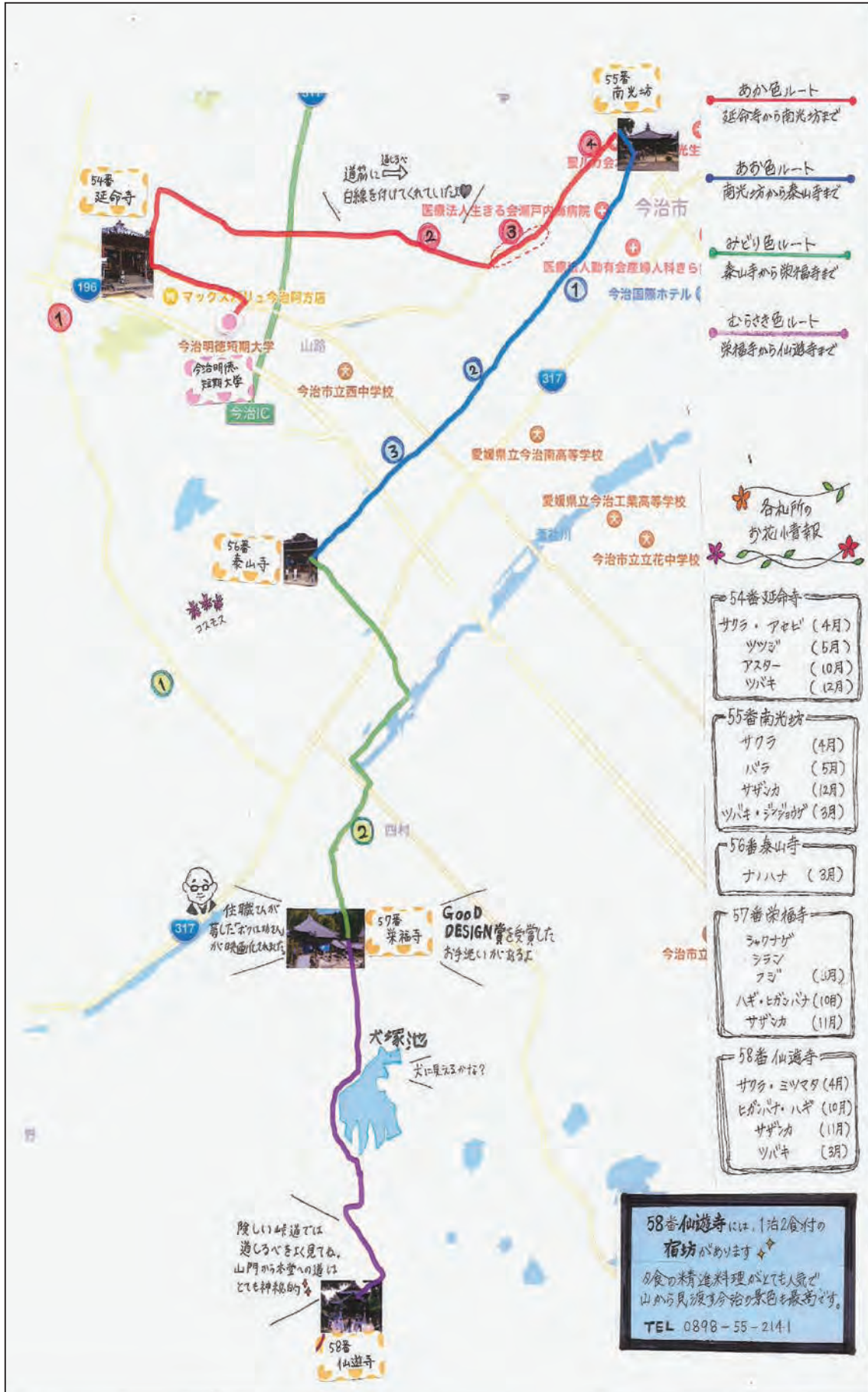
4 鐘屋 武吉
 色んな種類のケーキがあり、名物の今治クリームも食べれます!

57番 栄福寺

56番 泰山寺

55番 南光坊

54番 延命寺



歩き遍路体験学習の感想～学生のレポートより抜粋～

・普段、普通に生活している今治にも、毎日たくさんの方が県外から来られてお遍路されていると思うとすごいな、と思いました。

・お遍路さんを見かけたら、一声かけるなどして応援したいと思えるようになった。

・すごくしんどかったが、普通の道を歩いているより、お遍路道を歩く方が楽しかったです。



・一人一人どのような思いがあって歩きへんろをしているかはわからないが、改め「歩く」ということを貫く姿を素敵だと思いました。

・山道などを歩いていたときは、子どもの頃よく自然の中で遊んでいたことを思い出し、懐かしい気持ちになりました。

・想像していたより歩いたし、時間がゆったりしていた感があって、なかなか楽しかった。

・仙遊寺に至るまでの困難を乗り越えた後の山からの景色はとてもきれいで記憶に残っており、昔の人が同じように困難を乗り越えてみた景色だと考えるととてもしみりました。

地域交流実践演習Ⅱ（歩き遍路体験学習班）を受講して〈学生の感想〉

・お遍路体験を通して、実際に歩いてみないとわからないことやお遍路の歴史について知ることができました。

・他の学科の人が優しくいい環境でできました。地域交流ならではの他の学科の人と交流できて良かったです。

・家族でお遍路を回った時は、車で回ったので、歩いたのは初めてで楽しかったです。

・この授業を通して歩き遍路の体験や班でのまとめなど、学科を超えて仲良くできたのではないかと思います。

・皆で一つの作品を作る過程やお遍路の歴史が知れたことを今後に生かすことができた時に地域交流が役立ったと実感できると思います。

・一人一人に役割があり、やりがいのあることができた。

・地域交流実践演習Ⅱの授業全体を通してお遍路の魅力や歴史を知ることができました。お遍路マップの製作はいろんな課題が多くありましたが、完成することができたので良かったです。今後もこの活動で多くの人たちがお遍路について知ってくれたらとてもうれしいです。

um～海好き～グループ

・10月10日に行ったお遍路体験はとても良い思い出になっています。今回のような体験はなかなかできないと思うので、とても良い機会になりました。

・この授業を受けなければ、自らお遍路をすることはなかったと思う。各班それぞれ違う方法で調べたりしたものが1つの冊子としてできるまでたくさんの方が関わって完成したと思うとこの冊子を大事にしたいと思った。

・1つ1つのお寺の特徴も違い、普段の生活では知れない世界を学ぶことができて良かったです。

・私はお遍路について詳しいことは一切知らず、実際に調べたり体験したりすることにより、いかに深い歴史があることを知り、とても感動しました。

・前期に比べて後期は一つのテーマについて深く学んでいったので自分ひとりでは思いつかないような意見に結び付けることができました。

・まとめとお遍路を歩いて回るのがとにかく大変だった。マップ付きのきれいな冊子が完成できた。班の人とも仲良くなれたし、この授業をして良かったと思う。

ティータイムグループ

・前向きに取り組めたと思う。全体を通して楽しく活動できた。
 ・この授業を受けてみる前までは、今治のことを全然知らなかったけれど授業前と授業後では知識を深め、体験のおかげでたくさんの人とかかわることができました。
 ・僕は松山から今治の短大に来ていて、今治のことを知らなかったのですが、この地域交流を通して今治のことを詳しく知れて良かったです。
 ・冊子ができたのは本当にうれしいです。形に残るのはやりがいがありました。違う学科の人たちとも触れ合い、いろんな体験ができたのはとてもいい思い出になりました。
 ・歩き体験学習を行い、皆で今治市内の寺を回り、皆と最後まで歩きたかった思いがある。インタビューするとき、緊張したが、快く応えてくれたりしました。
 ・前期より内容の濃いものになったと思う。これから卒業して就職するけれど地元に戻っても自分の地域との交流をできるように気を配りたいと思った。

マイタウングループ



・実際に歩き遍路をして、一冊の冊子を作るまで大変だったけど、とても達成感を感じることができました。
 ・班の皆と協力して活動をし、普段はほかのコース、学科の人と接する機会は少ないので、とてもいい経験と学習内容もとても充実していました。これから、地域交流実践演習の学習を通して、遍路の良さ、魅力などをたくさんの人に広めていきたいと思います。
 ・どの班も実際に体験したから気づけたことや特徴などをわかりやすくまとめられていて良かったです。
 ・たくさん的人数で「よくまとまった!」と感動しました。
 ・この体験学習から意見を出し合い、調べて資料を作り、1冊の冊子にできたことはとても良かったです。
 ・各グループそれぞれに地域の人と関わり、今まで知らなかったことを知り、体験したのだと思いました。この授業を通して学内での関わりもできたと感じました。
 ・もう少し長く受講したかった気がします。

**WSK～和食～
グループ**



「歩きへんろ体験班」メンバー

um～海好き～グループ

長野大地・松本裕次郎・大谷梨瑛・伊藤朱理・
篠原由有・深川幸子・桑原佑弥・相澤みゆき

ティータイムグループ

白石大貴・阿部穂乃香・小池真紀・伊藤美香・
阿部沙菜・堀川潤・内藤一郎

マイタウングループ

高橋翼・藪井明日香・末廣海人・長井奈緒美・
緑川遼・井上一臣・寺川夫央

WSK～和食～グループ

岩城唯・日野彩未・奥久保裕乃・藤本隆悟・
相原美希・山下留美・上村聖子



地域交流実践演習 後期 サイクリング班

メンバー：清水紗也果、曾我部優里奈、檜垣七光、山中泰子、源代拓真、西原崇晃、
 操 涛涛、費 瑋、阿部美咲、茨木優太、大西彩乃、菊川祥之、木村勇祐、
 寺田拓磨、松木渚、真鍋あみ

担当教員：松田ちから、玉井智子、中居由香、韋 敏

実践演習の流れ

9月	教員による下見 ・NPO法人アクションアイランド理事長の矢野都林さんが案内してくださり当日の周遊コースを決定する。
9月下旬	班メンバー発表
10月10日(土)	サイクリング実施 矢野都林さんと村上さんが案内役としてご同行了くださった。
12月10日(木)	明德中学校1年生の生徒の皆さんに対して、「報告会」実施 3班に分かれて、30分間。

学生が自らの感想も含め作成したものが以下の発表スライドである。

栄養、製菓製パンコース班



いろいろなコースで楽しめる



絶景のマウンテンコース



コース

1. 尾道港
2. 因島水軍スカイライン
3. 瀬戸田サンセットビーチ
4. 重点「道の駅」多田羅しなみ公園
5. 重点「道の駅」伯方S・Cパーク
6. 亀老山展望公園
7. サンライズ糸山

よしうみバラ公園コース



コース

1. サンライズ糸山
2. よしうみバラ公園
3. 重点「道の駅」よしうみいきいき館
4. サンライズ糸山

生口島周遊コース



コース

1. 尾道駅前
2. 瀬戸田港・沢港
3. 平山郁夫美術館
4. 耕三寺
5. 瀬戸田サンセットビーチ
6. 瀬戸田港・沢港

ゆめしま海道コース



コース

1. 小湊港
2. 祥雲寺
3. 西部海水浴場
4. 岩城港
5. 生名港
6. スポレク公園
7. サウンド波間田
8. 高浜八幡浜神社
9. フェスバ・松原海水浴場
10. 弓削港

自分に合う自転車選びが大事



クロスバイク
 26インチ
 24段ギア



軽快車
 26インチ
 6段ギア



ファミリー電動アシスト付き自転車
 前部安心シートベルト
 付きチャイルドシート

**この他にもたくさんの種類があり、
 自分に合った自転車選びができます。**

島の魅力 〈法南寺〉

- ▶ 「わらべ」に会える
→ 島に80体のわらべがおかれている
- ▶ 法南寺に行くまでに田舎な景色が楽しめる



法南寺にて...

- ▶ 手を合わせる理由は？
→ いろんなことが ピタッ とあいますように。
家族・恋愛・物事、いろんなことがうまくいきますように...
という理由。

日本人は形のある物にしか手をあわせない
だから、仏様をおいた

- ▶ **感謝**
- ▶ **命を活かせ！！**



福蔵寺にて...

- ▶ 脈は誰からもらったの？
→ 両親、その元をたどれば先祖...
人類が誕生したときから脈は途切れずにつづいている。

命を大切にしよう！！

- ▶ お寺、神社から出るときは鳥居に向かって一礼する
- ▶ どうして鐘をならすのか・・・
神様を起こすため



おいしい食べ物

◆ イチジク・みかん・レモン




他にもおいしい食べ物がたくさん☆

まとめ。

- ◆ 自転車で遠出するのも悪くないな、と感じました。
- ◆ いい運動になった。
- ◆ 普段見ることのない景色や、土地にであえた。
- ◆ 命の大切さを学ぶことができた。
- ◆ おいしい食べ物、やさしい島の方に出会えた。
- ◆ また行きたい！！と思うサイクリングだった。

サイクリング GOGO!!
 ~男たちの冒険~

★




景色

- ・しまなみ海道
- ・海
- ・山
- ・今治市や大島




景色

- ・バラ公園
- ・路地裏
- ・海岸線沿い

おすすめの景色





<h3>善根宿</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・古風な家 ・トイレと風呂がきれい ・屋根裏部屋に何かいそう ・無料で宿泊させる宿 	<h3>島内のイカ釣りスポット</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・バラ公園の近くの海 ・道路沿いの海 ・しまなみ海道・橋の下 	<h3>島内の魚釣りスポット</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・いきいき館 ・フェリー乗り場の奥の浜
---	---	--



幼児教育学科女子班

しまなみサイクリング



幸福の鐘とわらべ



大島は『お大師さんのおる島』と呼ばれ、弘法大師に鐘が深い島です。

幸福の鐘



幸福の鐘の前にある。
 わらべにお願い事を言いましょう。
 お願いをするときは
 わらべの片耳をふさいで言いましょう。
 ふさいでおかないともう片方の耳から
 願い事が通りぬけると言われています。



1つ1つ手作りだから、
 顔の表情やポーズ、
 大きさが1つ1つ違います。
 自分に似ているわらべが見つかるかもしれません。



わらべの頭をなでると……



幸せが訪れると言われてています。



バラ公園

バラ公園には約400種類、3500株ものバラが植えられています。
見頃は5月ですが、12月末まで楽しめます。





バラソフト ¥300
 コラーゲンたっぷり女性にオススメです。
デコボンアイス ¥200
 三年間お取り寄せNO. 1。
塩アイス ¥250
 特産物の伯方の塩を使っている。



バラ園にも幸福の鐘があります。



郷土文化センター
 興味がある人はいってみてください。



まとめ

- ◆ 自然とたくさん触れ合えた。
- ◆ いろいろなわらべに会えた。
- ◆ 幸福の鐘をならすことができた。
- ◆ バラの綺麗さに感動した。
- ◆ とても楽しかった。
- ◆ また行きたいと感じた。

実践まとめ（教員コメント）

明德中学校1年生の皆さんからは、島内のあちこちに配置されている「わらべ」の由来やサイクリングの感想などについて活発な質問をいただき、大島出身の生徒から「島の良いところを紹介してくれてありがとうございます」と感謝のことばもいただいた。後日校内通信にも掲載してくださった。

実践報告を終えての学生の感想は、中学生の皆さんに発表するために、さまざまな準備が必要であることや、わかりやすく説明する技術の難しさに気付いた、などの反省と気持ちや準備に取り組んだ達成感があったなどが見られた。

これらのことから、実践後の振り返りを学内だけの報告等にとどめず中学生の皆さんに「伝える」という作業を行ったことは、それぞれの参加態度や取組意欲などに差こそあれ、さらなる学び等があったものと考えられた。

一方でサイクリング班全体の取り組みを振り返るなかで問題点も明らかになった。たとえばサイクリング当日10月10日は単にサイクリングを楽しんでしまい、大島の魅力について探ることや、島四国の由来について学ぶなど、本来学ぶべきテーマや課題から遠ざかっていたのではないかということや、明德中学校への発表に向けての準備では、取り組みに協力しようという姿勢が乏しい学生が複数見られ、教員側の再三の注意にも従わない状況があったことなどである。

これらをうけて教員の反省と課題として、学生の主体性を重んじ、主体的に取り組めるよう支援するという方向性をいかに実現するかという点、そして体験からの学びを目的とした学外演習を実施する場合、事前事後学習の在り方についての再検討が挙げられると考える。

地域住民として地域について学び、学生一人一人が地域活性への推進力となることができよう、しっかりとした学びを実現するための整備をすることで、次年度実践がより良きものになると考えている。

世代間交流・・・遊び・・・

- * ふれあい茶屋での活動
- * 福祉まつりでの活動
(今治市総合福祉センターまつり)

遊 び



**世代間交流を行いながら
楽しめる活動**

* ふれあい茶屋での活動

「鈍川ふれ愛茶屋」での活動

- ①お接待(ふれ愛茶屋)
- ②鹿カレー作り(ふるさと料理体験・応援)
- ③清掃(ふらっとホット内)
- ④お餅・おはぎ・赤飯作り(加工工場にて)

ふれ愛茶屋店内

- ・家庭的な料理で、誰にでも受け入れられやすい。
- ・お店の雰囲気が良い。
- ・お店の人も明るくて親しみやすい。
- ・自然豊かで落ち着いている。







居心地良い茶屋を、 より気持ちよく利用してもらいたい！

- ・くもの巣除去
- ・窓拭き
- ・花壇と歩道の清掃
- ・トイレ清掃
- ・草引き



玉川 鈍川の シンボルとして…

わらししアート

**鈍川わらアート
プロジェクト**

題名 ワラシ
 長さ 2.25m
 重量 4t
 素材 藁、竹、紅葉、蕨、草、山吹

本館 鈍川地区の観光資源をどう活用するかという、「わらししアート」を題材として、わらししアートは、芸術家や市民が共同で制作するアート作品です。地域を愛して日々成長するアートを制作するアーティスト、芸術家や市民が共同で制作しています。

名称: 旧鈍川小学校二宮金次郎像台座
登録番号: 38-0027

二宮金次郎像

登録有形文化財の
台座(石積)

底辺4m, 高3m規模の
玉石練積の三角錐状台座で、
正面に「恩」の字を刻んだ
レリーフを積み込む。

私たちにできること

* **場所がわかりにくい。**

→ 地図を作り、いろんなところに
掲示する。



* **遠い。**

→ 無料の送迎バスを出す。



* **知らない人が多い。**

→ 口コミや、「～体験」を作って
体験してもらう。



* 福祉まつりでの活動

「福祉まつり」での活動

～であい ふれあい みんなのまつり～

第17回 今治市総合福祉センターまつり

日時
平成27年
11月8日(日)
9:45～15:00
(スタンプラリー開催時間=10:00～14:00)
(販売品と飲食物は売切れ次第終了となります)

会場
**今治市総合福祉センター
愛らんど今治**

お楽しみ抽選会もあるよ!

商品券・新米など
多岐豪華??景品
当たるかも!!





手話の体験コーナーでの体験



地域の方の活動紹介 (展示販売)

まとめ

「しまなみの生活と文化を
守り育てる人づくりつながりづくり」
を実践するためには、今治明德短期大学の学生
として 継続して関わっていくこと、
テーマをしぼり 年間を通して交流を重ねていくこと
が必要なのではないか。

地域との関わりの実践として、「遊びを通しての世代間交流」をテーマに活動を行った。「遊びと世代間交流」というと、昔ながらの遊びである竹馬やお手玉、コマ、メンコなどといった遊びであり、それらを地域の高齢者たちから教えてもらうといったことが思い浮かぶ。しかし、ここでの「遊び」は道具を使ったりゲームをしたりという狭い意味での「遊び」ではなく、「世代間交流を行いながら楽しめる活動」として捉え、活動を行った。

活動は、①ふれあい茶屋での活動、②福祉まつりでの活動の2つである。

①ふれあい茶屋での活動

ふれあい茶屋は地域福祉活動の一環で、住民が生活課題や福祉課題の話し合いの中から始まり、現在では、地域の人々が安心して暮らすためにできた、住民の憩いと交流の場になっている。

ふれあい茶屋では、茶屋に来るお客様へのお接待、茶屋で出しているメニューの鹿カレー作り、茶屋と隣接する「ふらっとホット」などの清掃、茶屋で販売しているお餅・おはぎ・赤飯作りを行った。その他、鈍川の新たな観光資源としてメディアでも取り上げられつつある「わらしし」と元鈍川小学校にある二宮金次郎像の台座の見学へも行った。学生自身、玉川の鈍川地区について知らないことが多く、この地域のことを多くの人に知ってもらいたいと感じ、自分たちにできることをいくつか考えた。(詳細はスライド部分参照)

②福祉まつりでの活動

福祉まつりは今年で17回目の開催であり、地域住民にもなじみのイベントとなっている。学生らは、イベントに参加し、老若男女、障がいの有無を問わず多くの人と関わりを持つことができた。また、地域には、様々な人が暮らし、その人々のつながりによって地域は成り立っているのだということを実感できたようである。

二つの活動を通して、この実践の目標である「しまなみの生活と文化を守り育てる人づくり、つながりづくり」の第一歩となったのではないかと思う。学生も、「地元の学生として、文化の継承や地域の人との関係づくりのため、さらに交流を深めていくことが必要である」とまとめている。

〈学生のコメント〉

活動を通して、若者のマンパワー不足を感じました。私たちの微力な援助でもお役に立てることがあるはずです。一過性のものではなく、次年度も継続させることが大切であり、一度きりでは地域交流にはなりません。この小さなつながりから、より住みやすく活気あふれる地域になればと良いと、今後の活動に期待しています。

地域交流実践演習Ⅱ 世代間交流 《料理》

4班

介護福祉コース	503022	宮本瞳		
食物栄養コース	506014	丹波実紗希		
製菓製パンコース	502004	太田結香	502006	高橋亜衣
国際観光コース	505002	中野愛	505003	松村莉奈
	505005	曲遠達	505006	秦泗紅
幼児教育学科	504010	越智美桜	504012	梶原希望
	504015	黒田ありさ	504016	後藤有香
	504017	小西龍次	504036	真鍋瑛美
	504037	向井心咲	504043	吉本彩
調理師専修科	071003	近藤加奈子	071007	名越満里奈
	071009	松木理紗		

地域の料理の達人をむかえ 郷土料理講習にて交流をはかる

ゲスト講師 加部久美子先生 西本愛子先生

～献立～

もぶりめし
アジの南蛮漬け
味噌汁
子いかの煮付け
かきあげ
いちじく寒天
栗の渋皮煮



レシピ

もぶりめし

- ①米を炊く。
- ②人参、牛蒡、鶏もも肉などを食べやすい大きさに切り、酒、みりん、醤油、砂糖で煮込む。
- ③ご飯と煮込んだ具材を、まぜあわせて盛り付け。

アジの南蛮漬け

- ①酢、醤油、砂糖をあわせておく。
- ②玉ねぎ、人参、ピーマンを千切りにし、①とまぜておく。
- ③小アジを素揚げにし、②に入れてつける。

味噌汁

- ①玉ねぎ、人参、豆腐、水に戻したわかめを一口大に切る。
- ②だし汁を沸騰させ、火の通りにくい人参から順に入れていき、具材に火が通れば味噌をとかす。

子イカの煮付け

- ①下処理をした子イカを水洗いして、水から炊く。すみが出たら湯を捨てる。
- ②最初は酒だけで炊き、沸騰したらみりん、砂糖、醤油で味付けする。

かきあげ

- ①玉ねぎ、ピーマンをスライスする。
- ②天ぷら衣を作り、①と小エビを入れ揚げる。

いちじく寒天

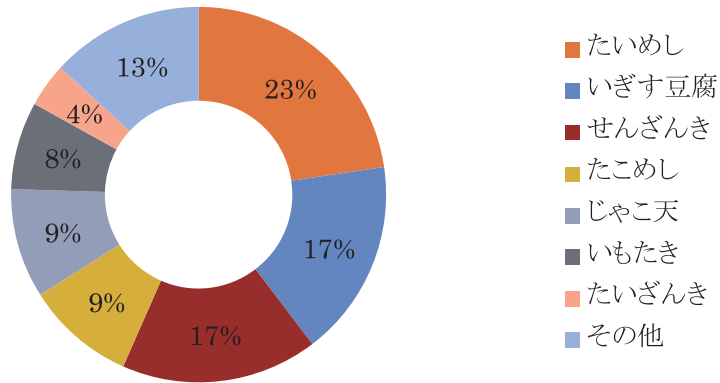
- ①天草をよく洗い、汚れやごみを取り除く。
- ②鍋に、水と酢を入れて天草を煮溶かしていく。
- ③繊維がなくなってきたら、ざるでこす。
- ④こした液に水を加え、もう一度天草を入れてさらに煮溶かす。
- ⑤煮溶けたら、さらしでこしていく。(寒天液完成!!)
- ⑥完成した液にいちじくジャムを混ぜ合わせる。
- ⑦グラニュー糖、レモン汁、ブレンダーを加え、バットに流し冷やし固める。

試食の様子



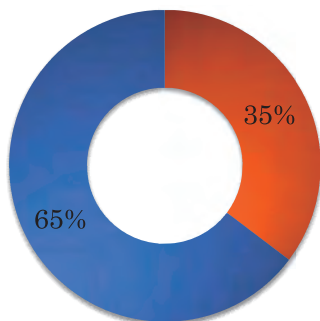
アンケート

(1)あなたの知っている愛媛県の郷土料理は？



(2)郷土料理を作ったことはありますか？

■ある ■ない



あると答えた人が何をつくったか

- ・ちらしずし
- ・鯛めし
- ・水ようかん
- ・クリ身(魚のすり身)の吸い物
- ・かきあげ
- ・いもたき
- ・せんざんき
- ・いぎす豆腐

体験実習の感想

- 違う年代の人、別の学科の学生同士のコミュニケーションの場になった。
- みんなで協力でき、お互いにいい刺激になった。
- 郷土料理に関心を持てた。
- 名前を聞いたことのある料理を、実際に作ってみたいと思った。
- 郷土料理を通じて、地元のことを知れた。

次世代に残したい郷土料理は？

- 地元の食材を生かした料理
- 健康づくりに適した料理
- 春夏秋冬の時期にあった料理
- 家族から教えてもらう家庭の味



郷土料理を作ろう！

前回の郷土料理の交流を終え、交流で学んだことを生かすために3班に別れて、東予の郷土料理について調べて作ることにしました。

～献立～

1班

丹原地方の押し寿司

2班

今治地方のたいざんき

3班

西条地方のいもたき



レシピ

1班 丹原地方の押し寿司

- ①米を炊き、合わせ酢と合わせて酢飯にする。
- ②干しいたけは調味料と一緒に甘辛く煮る。
- ③卵は錦糸卵にする。えびと絹さやは茹でる。
- ④抜き型に酢飯、錦糸卵、しいたけ、えびを乗せ、上から押しぬく。
- ⑤適度な大きさに切り、その上に紅しょうが、絹さやをのせる。



レシピ

2班 今治地方のたいざんき

- ①鯛の切り身に調味料で下味をつける。
- ②①に小麦粉をまぶし、油で揚げる。
- ③れんこんはスライスにして揚げ、
人参は千切りにして天ぷら衣につけかき揚げにする。
- ④揚げたての②、③に塩を振り、
皿に天紙を敷き、盛り付けて、ゆずを飾る。



3班 西条地方のいもたき

- ①材料を切る。(里芋、牛蒡、人参、
こんにゃくなど)
- ②調味料を合わせる。
- ③具材を煮ていく。
- ④味見をして、味をととのえる。



試食、グループの発表



作ってみての感想

《丹原地方の押し寿司》

- ・思っていたより、簡単に作ることができ、見た目もきれいだった。
- ・みんなで協力して、楽しく作れた。

《今治地方のたいざんき》

- ・鯛の身が様々な形をしているので、大きさを考えながら切るのが難しかった。
- ・簡単な手順でしたが、ひとつひとつ丁寧にしました。家庭でも作れそうなので今度作りたいです。

《西条地方の芋炊き》

- ・日本の芋炊きを皆で家族のように作って楽しかった。
- ・簡単だったが、調理の知識が身につけてよかった。

地域交流演習のグループ活動を終えて...

- ・郷土料理という観点から地域の問題に取り組みました。面識のない人達とグループで活動しましたが、みんな仲良く講師の先生、調理科の先生と本当の家族のようにコミュニケーションを取り、協力して和気あいあいと料理を作ることができました。

そして自分達で、東予地方の郷土料理について調べ試作し、レシピもまとめました。郷土料理を実際に作ってみて、家庭でも作りやすいことがわかりましたが、若い人で知らない人が多いので、まとめたレシピをパンフレットなどにして市内に配布することで、今治の郷土料理を多くの人に知ってもらい、作ってもらう機会を増やせたらよいのではないかと思います。

今後、今回のことを生かして、皆が地域活動に積極的に参加し今治を今まで以上に暮らしやすい町にしてゆきたいです。

◎学生の感想

グループに分かれて郷土料理について調べてみました。

この中でも特に興味があった料理が「もぶりめし」です。

今治地方でも特に漁村の郷土料理です。サバなど青魚のダシで里芋、ごぼうなどの具を味付け、別に炊いたご飯と混ぜ合わせます。「混ぜる」ことを方言で「もぶる」と言うことからこの名がついたそうです。

松山では、今治と同じく「混ぜる」ことを方言で「もぶる」と言い、「もぶり鮓（もぶり飯）」とも呼ばれ、松山では酢飯だそうで松山鮓ともいうそうです。地元の小魚のおいしさが凝縮された松山鮓は、今も松山の代表的な郷土料理として根強い人気があります。

ひとことで「もぶりめし」といっても東予と中予では違うということがわかりました。

今治の中でも家庭によって味付けや具材はさまざまで、また主菜や副菜の味の濃さにより「もぶりめし」の味の濃さも変えるのだそうです。

各グループで調べて作った郷土料理も、知らなかった料理や、各家庭で材料も味付けも違うんだということを知りました。

また、他コースの学生、留学生と一緒に調べたり、意見交換することでたくさんの情報が集まりました。今回の授業を活かし配布用レシピを作れたら良いと思いました。



◎教員のコメント

食生活が多様化する中で地域の郷土料理や伝統料理、家庭の味が失われつつある中で、家庭の味や地域の味を次世代に継承を図るため、郷土料理や食文化に関する情報を3グループに分かれ「郷土料理・今治の食文化・愛媛の食文化」について考えてみました。

日 程		
1・2回目	10月8日(木)	オリエンテーション・郷土料理、調理実習について
3・4・5・6回目	10月24日(土)	地域活動 次世代交流「郷土料理の伝承教室」 (講習・実習・試食・質疑応答・色紙を使って交流)
7・8回目	10月22日(木)	グループワーク(レシピ、レポートまとめ)
9回目	10月29日(木)	東予の郷土料理について調べ、試作レシピ作成
10・11回	12月10日(木)	各グループ郷土料理試作、料理説明、試食、まとめ
12・13回	12月24日(木)	郷土料理についてのアンケート調査、活動資料作り
14・15回	1月28日(木)	活動資料まとめ・地域活動報告会

今治市には「しまなみ地域活性化推進協議会連合体」の活動があり、「伊予大島・ふるさとの味 ふだん着の料理 簡単クッキング」を発刊しています。

地域の人々に伝えられてきたふるさとの味が忘れ去られようとしている中で、豊かな瀬戸内の味や地元の食材を活かした先人たちの知恵や工夫、地域独自の味を反映させた郷土料理が失われていくのを見逃せないと出版したそうです。

「旬」の食材を使い手間がかからず「旬」の食材を活かした「ふだん着の料理」ばかりが掲載されています。

今回の活動の第5・6回目の地域活動では「簡単クッキング」発刊協力者の一人である西本愛子さん、JAおちいまばり助けあい組織「太陽の会」副会長 加部久美子さんを講師にお迎えし、世代間交流とともに、地元食材を使用した料理や地域に伝わる郷土料理を作り、旬の食材や地域の郷土料理を知り、理解、伝承することを目的とした料理教室を開講しました。



「ところてん」や「いちじく寒天」の原料となる「天草」を初めて見るという学生がほとんどで、郷土料理の「いぎす」もこの天草からできると言う事に驚いていました。

ただ作るだけでなく、食材を知り、触ってみる、旬を知ると言う事が郷

土料理を知ると同時に、大切な事だと感じました。

また、他コースの学生、留学生と一緒にグループワークすることにより、今治だけでなく県外の郷土料理や伝統など地域の特色を知ることにもなり、コミュニケーション力の向上にもなったと思います。

地域交流実践演習
 後期 タオル班

タオル産業の街 ～いまばり～

介護福祉	食物栄養	製菓製パン	幼児教育	調理専修
青野 健誠	大下 佐季子	野間 あかり	織田 舞子	笹野 翔平
伊東 まいあ	菅 正子	八木 悟	佐竹 碧	
岩崎 涼	島田 良実		中津 華奈	
岡田 憲太	高橋 滯		藤澤 七海	
西坂 滯	藤原 莉乃		松木 瑞穂	
馬場 涼香	松木 優生子		山西 鯨	
濱咲 風花	村上 知子		吉田 周平	
	矢野 歩美			



発表風景

授業目標：**タオルの製造過程や販売方法を学び、大学生として
ビジネスモデルについて考えてみよう！**

★活動計画

10月8日... オリエンテーション
綿貫部長によるお話（DVD鑑賞）

10月22日... 見学

10月24日... 見学

10月29～12月24日... 作業（タオル図柄案作成・発表準備）
（タオル配布方法について）



DVDによる施設説明



織機見学



★見学場所

- ▶繊維産業技術センター
- ▶楠橋紋織株式会社
- ▶今治地域地場産業振興センター
- ▶テクSPORT今治…タオルフェア



洗濯実験施設



特別仕様のタオル（非常時用）

～1日目～

繊維産業技術センター

楠橋紋織株式会社

見たこと・学んだこと

- ☆ 染色機
- ☆ 機械を使っている工程
- ☆ 織機



産地により綿花の質は異なる。

～2日目～

今治地域地場産業振興センター



見たこと・学んだこと

☆ ブランド“佐藤可士和”

ロゴについて

☆ 販売方法について



今治タオルプロジェクトは、他との差別化を図るためデザイナーの佐藤可士和氏に依頼して、ブランドロゴを作成した。

さらに知名度を上げるべく、新商品の開発や展示会への出店に力を入れている。最近では市場を海外に広げ、現地で受け入れられる新商品の開発も進んでいる。

ただし、今治で製造されたタオルならば何でも良いという訳ではない。ブランドマークが付与されるためには厳格な品質基準をクリアしなければならない。今治タオルブランドとして確固たる地位を確立するためには、まず消費者の信頼を確かなものにする必要がある。

～2日目～

テクSPORT今治…タオルフェア



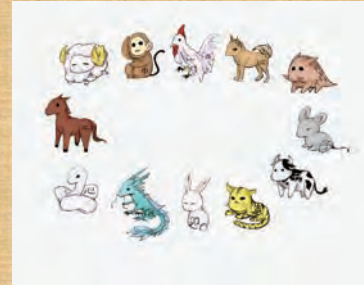
昔の織機（上）と現在の織機（下）。
製造効率は格段に進化した。

オリジナルタオルについて

テーマ・・・ **imjc**



グループのみんな



西坂 滯さん

デザインの意図
・男女共に使えるように！（ボーダー）
・子どもから大人まで使えるように！（十二支）

○西坂 滯さんのコメント（干支のデザイン考案）

今回、タオルデザインを担当させて頂きました。とても貴重な体験ができてうれしく思います。

干支にしたのは、男女や世代を問わず全ての人に受け入れられる素材だと思ったからです。小さい子は絵を見て楽しく12の動物を覚えることができます。大人には縁起物として喜ばれるのではないのでしょうか。

誰もが思わず手にとってみたくなる、そんなデザインを目指しました。

○ボーダー柄に関しても、コンセプトは「多くの人に受け入れられやすいデザイン」である。しかしただのボーダーにするのではなく、今治明德短期大学らしさを織り交ぜて所々に「imjc」を入れた。

感想・まとめ

- ・ 今治に住んでいるのにタオルについてよく知らなかった
- ・ 新しい発見がたくさんあった
- ・ タオルを作るのにたくさんの人々が関わり、

日々努力しているのだと気づいた

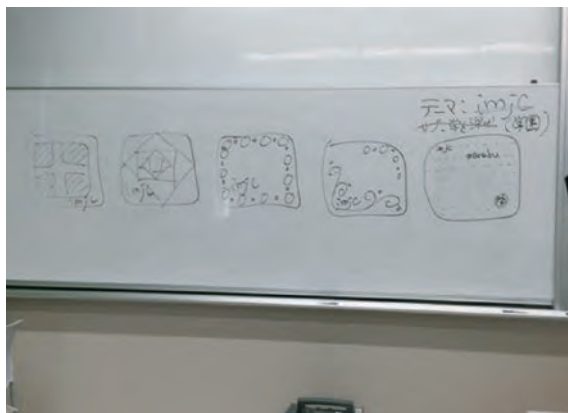
☆今治タオルのことをよく知り
今治タオルの良さを周りに伝えていこう！



異なるコースの学生が、自分の得意分野を生かしたアイデアを出し合った。



タオルデザインの検討



タオル班は、最初に実際のタオル産業の現場を見学した。
製造工程から販売までの流れを見ることで一連の過程を把握することができた。
そのうえで、学生は自分達がどのようなタオルを企画するかをイメージした。

1. 学生の感想

(製造について)

- ・糸紡ぎ体験をして、昔のタオル製造の大変さを知った。
今では工場で多くの機械が同時に稼働しているが、その音の大きさと綿ぼこりのすさまじさに驚いた。製造の苦労は時代が変わっても同じである。
- ・植物の綿花が糸になり、タオルという生地になる過程を学べたのは良い体験だった。
- ・タオル製造が、現在も様々な開発や実験を経て行われていることに驚いた。

(販売戦略について)

- ・地元タオル会社の地道な努力の積み重ねにより今の「今治タオル」がある。
- ・佐藤可士和氏によるスタイリッシュなロゴデザインからも、世界を相手にプロジェクトを進めたいという意図が分かる。
- ・良い品質のタオルを安く購入できるタオルフェアは地元だけでなく市外、県外向けにも効果的なアピールとなる。

2. 教員からのアドバイス

オリジナルタオルを作ることを授業内容に盛り込んだが、実はタオルを作ることが目的ではない。企画→製作→梱包→出荷→販売、この一連の過程を学ぶことが目的だ。どうやったら売れるのか、ターゲットを誰にするのか等を検討しつつデザインやロゴを考える。このように学生目線で地場主要産業のタオルをどう応援できるかを考えることが授業の到達目標だ。

このような授業の性格のため、今回だけで完結するものではない。数年をかけて継承すれば大きな成果が得られるだろう。地域の人々と交流しながらビジネスモデルを確立し、地域志向の人材として成長してほしい。

平成27年度 地域交流実践演習Ⅰ・Ⅱ活動報告書
文部科学省 地（知）の拠点整備事業（平成26年度採択）

imjc
IMABARI HEIYOKU JUNIOR COLLEGE



編集・発行 今治明德短期大学

〒794-0073

愛媛県今治市矢田甲 688

TEL 0898-22-7279 (代表)

0898-22-7366 (COC 推進室直通)

FAX 0898-22-7857

MAIL info@meitan.ac.jp